

第16回建設業経理士1級財務諸表 解答速報

〔第1問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。

問1

損益計算書は一営業年度における企業の経営成績を示す計算書で、貸借対照表とともに、主要な計算書のひとつである。☆☆それは一営業年度に発生ないし実現した収益と、それに対応する費用とを対応表示して当期純利益を記載したもので、☆☆原理的には収益－費用＝利益という損益法の原理にもとづいて作成される。☆☆財務諸表の利用者は、この計算書を通じて、過去における資金運用の経緯と結果を観察し、将来の収益性を予測しようとする。☆☆

問2

1 つめは、報告式の採用である。☆☆報告式の損益計算書は、勘定式に比べて、区分計算に従って収益から費用を差し引くのに便利であり、かつ理解しやすい。☆☆2 つめは、区分計算である。☆☆これは収益と費用とをいくつかの段階に分けて利益を段階的に計算する形式である。この区分計算を通じて、企業の本来の活動の成果をあらわす営業利益・収益性の予測の指標となる経常利益・営利活動による一期間の株主資本の増加額である当期純利益の区分表示が可能になる。☆☆3 つめは、総額主義の原則である。☆☆この原則は、損益計算書において、収益と関連費用との相殺の禁止として具体化される。この両建表示を通じて営業活動の規模が明らかにされる。☆☆ ※

※ 上記の他に、損益科目の科目の明細の細分化や注記を挙げても可。

予想採点基準

☆…2点×10=20点

☆の前の文の内容が正解で得点

〔第2問〕

記号(ア～ネ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
カ	チ	ナ	ア	ニ	ネ	タ	シ	セ	オ	サ	ソ
★★	★★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

予想採点基準
★… 1点×14=14点

〔第3問〕

記号(AまたはB)

1	2	3	4	5	6	7	8
B	B	A	A	B	A	B	A
☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

予想採点基準
☆… 2点×8=16点

〔第4問〕

問1 ☆☆★

		3	0	0	0
--	--	---	---	---	---

 千円

問2 ☆☆★

		3	3	0	0
--	--	---	---	---	---

 千円

問3 ☆☆

			3	0	0
--	--	--	---	---	---

 千円 記号 (AまたはB)

A

※問3は記号もあわせて正解で4点。

採点基準
☆… 2点×6=12点
★… 1点×2=2点

〔第5問〕

精 算 表

(単位：千円)

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	12,000						12,000	
受取手形	15,000						15,000	
貸倒引当金		1,100		3,500				☆4,600
未成工事支出金	256,180		2,500 120 1,200	260,000			※ 0	
機械装置	20,000						20,000	
機械装置減価償却累計額		2,500		2,500				☆5,000
土地	10,000						10,000	
売買目的有価証券	1,000		200				1,200	
株式交付費	200			100			☆100	
その他の諸資産	10,435						10,435	
工事未払金		18,700						18,700
未成工事受入金		100,000	100,000					※ 0
完成工事補償引当金		375		1,200				☆1,575
借入金		7,500	100					☆7,400
退職給付引当金		4,500		1,450 120				☆6,070
その他の諸負債		13,490						13,490
資本金		140,000						140,000
資本準備金		22,000						22,000
利益準備金		20,000						20,000
繰越利益剰余金		9,800						9,800
雑収入		4,570				4,570		
販売費及び一般管理費	18,500		1,450		19,950			
その他の諸費用	1,220				1,220			
	344,535	344,535						
機械装置減損損失			2,000		☆2,000			
機械装置減損損失累計額				2,000				2,000
株式交付費償却			100		100			
貸倒引当金繰入額			3,500		3,500			
有価証券運用損益				200		☆200		
為替差損益				100		100		
繰延税金資産			400				☆400	
完成工事未収入金			215,000				215,000	
完成工事高				315,000		☆315,000		
完成工事原価			260,000		260,000			
未払法人税等				13,640				13,640
法人税等			13,640		☆13,640			
法人税等調整額				400		400		
			600,210	600,210	300,410	320,270	284,135	264,275
当期(純利益)					☆19,860			19,860
					320,270	320,270	284,135	284,135

※ 0の記入は省略しても可。

予想採点基準

☆… 3点×12=36点

平成27年3月(第17回)試験向け 建設業経理士 WEB 講座

合格に必要な十分な知識・テクニックを実力派講師(全員、1級建設業経理士)から効率的に学べるカリキュラムをご用意しています。

忙しい方でも安心して学べるネットスクールのWEB講座で、平成27年3月に実施される第17回建設業経理士試験の合格を目指しましょう!

ネットスクールの「建設業経理士WEB講座」の魅力!

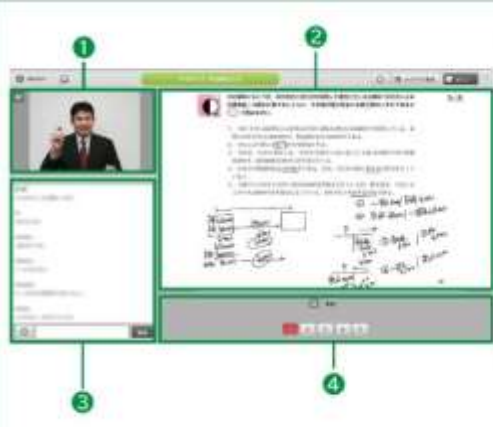
分かりやすい講義とサポートで初めての方でも安心

実力派講師の「理解できる」講義で、合格に必要な知識をお届け。オンデマンド配信なので、何度でも見直して復習も可能。また、受講生専用SNS「学び舎」やメール・電話でご質問もできます。

理論問題の添削サービスで、記述問題対策もバッチリ!

1級の学習で皆さんが最も不安に感じる第1問の記述問題は、とにかく書いて誰かに読んでもらうのが効果的な対策です。ネットスクールでは皆さんが書いた記述問題の解答を添削し、アドバイスを行います。

講義画面はこんなにすごい!



- 講師画面**
講師が直接講義をします。表情もあふれる画面です。
- ホワイトボード**
板書画面です。あらかじめ準備された「まとめ」や「資料」に講師が書き込めます。もちろんプリントアウトもできます!
- チャット**
講師へのメッセージはいつでもどうぞ!質問はもちろん、「今のところもう一度説明して!」などのご要望もOKです。
- アンケート回答ボタン**
講師からの「今のところわかりましたか?」や「皆さんに聞きますね」などの問いかけに使います。

スマホ・タブレットにも対応

ネットスクールのWEB講座は、スマホやタブレットでも受講可能。

それに合わせて、30分程度で受講できるよう講義を組み立てています。これにより、「自宅で学習した講義を翌日、外出先で復習する」といった学習スタイルも可能になりました。



スマートフォン(iPhone・Android)での視聴画面
※講師画面・ホワイトボード画面が別々の画面で表示されます。

【NEWS】1級3科目コースが平成26年10月より教育訓練給付制度対象コースに!

平成26年10月以降、一定の要件を満たした方は1級3科目コースについて厚生労働省の教育訓練給付制度を活用して受講することができるようになります。詳しくは後日、ホームページにてご案内します。

■フルパックコースと料金のご案内■ ※この他、基本講義を除いた「直前対策コース」も試験直前期に開講予定です。

級・科目	基本講義	過去問ゼミ	予想・質問会	とおる模試	担当講師	受講料金 (教材・税込み)		
2級	13回	3回	1回	1回	桑原知之	¥31,200		
1級	財務諸表	12回	5回	1回	1回	藤本拓也	¥42,500	3科目セット ¥104,000
	財務分析	8回	5回	1回	1回	山田裕基	¥37,400	
	原価計算	8回	5回	1回	1回	藤本拓也	¥37,400	

<注意事項>

- 上記料金は、初めてネットスクールのWEB講座をお申込頂く方で教材も一緒にお申込頂く場合の料金です。最新版の教材を既にお持ちの方には「教材別」のコース、過去にネットスクールのWEB講座をお申込頂いた方には「受講生割引」や「再受講割引」を設定しております。詳しくはネットスクールホームページにてご確認ください。お問合わせ下さい。
- お申込みにあたっては、ホームページにて視聴環境を必ずご確認ください。